

34人11団体に  
奨励賞・助成金

両備榿園記念財団

学術研究や文化、スポーツ分野などで活躍する県内の個人、団体を対象にした両備榿園記念財団（岡山市北区錦町）の奨励賞・助成金贈呈式が5日、同市

10万円が贈られた。

小嶋光信理事長（両備グループ代表）が「今後も高いレベルの活動を続けるために役立ててほしい」とあいさつし、助成金と賞状を手渡した。受賞者の1人で、幹細胞を培養してつくられた臓器「オルガノイド」を活用した研究に取り組む岡山大病院の喜多村



真治講師（49）は「助成金を有効に活用して研究を進めたい」と話した。

同財団の助成は1979年から始まり、今回を含めた総額は3億5065万円となった。

小嶋理事長（右）から賞状を受け

取る受賞者

（水島宏介）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。